

## 技術ノート KGTN 2011072902

### 現象

[GGH4.0] セッション再接続機能を利用し、クライアント A からクライアント B へセッションを引き継いだ場合、環境変数 **CLIENTCOMPUTERNAME** と **CLIENTCOMPUTERADDRESS** の値は引き継いだ方の値になるのか？

### 説明

GGH-4.0.1.10357 の仕様では、セッションを引き継ぐ前のクライアント（つまりクライアント A）の環境変数 **CLIENTCOMPUTERNAME** と **CLIENTCOMPUTERADDRESS** の値が引き継がれます。現在、GraphOn 社にクライアント B の各値が設定される動作になるよう、機能要求を行っている状況です。

### 補足1

GGH-4.0.1.10784 (Patch 3) で環境変数 **CLIENTCOMPUTERNAME** と **CLIENTCOMPUTERADDRESS** の値が、再接続したクライアント（つまりクライアント B）の値になるように仕様変更されました。

### 補足2

コマンドプロンプト（DOS 窓）等を引き継いだ場合は、そのプロセス固有の環境変数の中に引き継ぐ前の **CLIENTCOMPUTERNAME** と **CLIENTCOMPUTERADDRESS** の値が保持されていますので、引き継ぐ前の値になります。GG の互換性機能を使用し **GetClientComputerName** 関数 でクライアントのコンピュータ名を得る場合についても同様です。

### 補足3

コマンドプロンプト（DOS 窓）等から新たなプロセスを生成した場合、GGH-4.0.1.10784 (Patch 3) では引き継ぐ前の値が **CLIENTCOMPUTERNAME** と **CLIENTCOMPUTERADDRESS** に設定されますが、次期リリースより 2011 年 12 月またはそれ以降のリリースで引き継いだ後の値が設定されるように仕様変更されます（GraphOn 社の内部ビルド 11051 で動作を確認しました）。これは、Ver3.2.1 の仕様に合わせるための仕様変更です。

Last reviewed: Oct 06, 2011

Status: DRAFT

Ref: CASE#25700, CASE#25110, CASE#25998

Copyright © 2011 kitASP Corporation